

新宿区立余丁町小学校

令和 8 年 4 月
通 算 4 4 3 号

余丁校通信



4月の生活目標

気持ちのよいあいさつをしよう

令和8年度の切符

校長 佐藤 郁子

ご入学、ご進級おめでとうございます。

校門の桜がにぎやかに花びらを風に揺らして、子どもたちの新しいスタートを祝ってくれているようです。この3月、55名の卒業生が本校から巣立っていきました。そして、新たに59名の新1年生を迎え、全13学級（含むかまつ学級1学級）、343名での出発です。

朝、通勤電車に乗っていると、あ！新しい制服で高校生活スタートだな、とか、新社会人1年生だなと思わせるフレッシュな若者と出会います。新しい学校、職場の駅の改札を通るドキドキ感を懐かしく思い出します。

改札といえば、まだ私の幼い頃は、切符を差し出すと駅員さんが改札鉄で素早く切り込み（「鉄痕」(きょうこん)）と言うのだそうです）を入れてくれました。それが、電車に乗って「出かける」という特別感を高めてくれました。

春の桜の花びらは、4月のスタート切符です。花びらの先の鉄痕は、これから一年間頑張る新しいそれぞれの場所に通うための印です。

桜の切符を握りしめ、希望を抱き、余丁町小学校に通ってくる343名の児童を、教職員一同全力で育てまいます。

本年度、本校は開校125周年を迎えます。地域・保護者の皆様に支えられ、歴史を積み重ねて来ました。6月には記念集会を開催し、子どもたちとともにお祝いをしたいと考えております。

子どもたちのやる気を伸ばし、130周年に向けて、更に飛躍できるよう教職員一同、邁進したいと思います。

地域・保護者の皆様には引き続き、温かく見守っていただければと存じます。

どうぞよろしくお願ひいたします。

3月の終わりに「すぐーる」で配信しましたが、留守番電話対応時間が変更になりました。

学校への電話連絡は、8:00~17:00の間にお願いします。